

旭川医療センター研修紹介

NHO Asahikawa Medical Center



病床数：一般310床（うち筋ジス40床・結核20床）
医師数：医師33名、研修医3名（初期）



標榜診療科

（17診療科）

内科（総合内科）

呼吸器内科

脳神経内科

消化器内科

循環器内科

リウマチ科

糖尿病・代謝内科

放射線科

小児科

外科

呼吸器外科

消化器外科

乳腺外科

リハビリテーション科

麻酔科

臨床検査科

病理診断科

旭川医療センターの概要

年間平均入院患者数	222.5 人/日
年間新入院患者数	3769 人/年
在院日数	16.6 日
年間平均外来患者数	309.5 人/日
外来新患者数	5613 人/年
紹介率	72.7%

病院機能評価 Ver6 認定

DPC（Diagnosis Procedure Combination；
診断群分類）対象病院

H23年7月より電子カルテシステム導入

旭川医療センターでの研修の特徴

経験できる研修

- ・麻酔時の挿管：20 例/月
- ・CV カテ挿入：10 例/月
- ・GF：5 例/月
- ・CF：3 例/月
- ・腹水穿刺：3 例/月
- ・ルンバル：20 例/月
- ・気管支鏡：5 例/月
- ・胸腔穿刺：5 例/月



学べる研修

- ・モーニングレクチャー
- ・TV レクチャー
- ・TV 症例検討会
- ・各科クルズス
- ・放射線診断レクチャー
- ・救急勉強会
- ・病理診断レクチャー
- ・症例報告会、CPC



院内での総合的な内科・外科研修

一般内科疾患のほとんどを網羅している
呼吸器・消化器外科など主要臓器の外科
後期研修でしかできないような手技をたくさん経験できる

国立病院機構ネットワークを利用した研修

東京医療センターでの救急・小児科・産婦人科（B コース）
道内 NHO 病院での多様な研修（A コース）
市内協力施設での研修（旭川厚生・市立旭川・旭川日赤）

多様な研修

専門的診療

呼吸器：癌・COPD・結核
神経：脳血管障害・PD
消化器：肝・消化管
代謝・糖尿病
膠原病・内分泌

総合的診療

総合内科
地域医療

多彩な研修

放射線診断

専門医によるマンツーマン
指導

病理診断

専門医によるマンツーマン
指導

エコー研修

心臓・腹部・頸動脈・関節
エコー

道内国立病院機構での研修(Aコース)

道内国立病院機構内でのバラエティーに富んだ研修を選択

北海道医療センター 救急を含んだ総合病院

北海道がんセンター 血液疾患など各種の悪性疾患

函館病院 道南地区の循環器センター、がん診療地域連携拠点病院

帯広病院 十勝地区の循環器疾患のセンター病院

心血管カテーテル 320例/年

ペースメーカー植え込み 10例/年

心血管手術 150例/年

八雲病院 小児の筋ジストロフィーでは、全国有数



北海道医療センター



北海道がんセンター



帯広病院

Aコース研修病院

	内科系									
	一般内科	循環器科	消化器科	呼吸器科	神経内科	リウマチ科	糖尿病科	腎臓内科	血液内科	アレルギー科
道がんセンター	◎		◎	◎					◎	
北海道MC	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
函館病院	◎	◎		◎	◎					
旭川MC	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	
帯広病院	◎									

	外科系						
	一般外科	消化器外科	胸部外科	心血管外科	脳神経外科	整形外科	婦人科
道がんセンター	◎	◎	◎		◎	◎	◎
北海道MC	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
函館病院	◎	◎	◎	◎			
旭川MC	◎	◎	◎				
帯広病院	◎			◎			

	その他					
	精神科	小児科	麻酔科	地域医療	救急	放射線科
道がんセンター			◎			
北海道MC	◎	◎	◎		◎	◎
函館病院			◎			◎
旭川MC						◎
帯広病院	◎					
八雲病院				◎		

東京医療センター(Bコース)

救命救急センター・産婦人科・小児科

365日24時間が3次救急 土日祝日も全力全開

電話対応した患者は担当患者。
当直回数は研修医の人数による。
救急搬送は原則全員が救急対応。
2次救急担当も週2回(月・火)
朝・夕に担当症例のプレゼンテ
ーション。

研修中に経験した症例についての
発表やテーマに沿っての発表を行
う。
一応週1回は休めることになっ
ているが.....

ほとんどが、Being Dead、

DOAもよくある

順位	病院名	所在地	定員	1位希望人数	充足率
1	国際医療研究センター 戸山病院	東京都	45	64	142%
2	聖路加国際病院	東京都	24	58	242%
3	東京医療センター	東京都	30	46	153%
4	九州医療センター	福岡県	30	42	140%
5	横浜市立市民病院	神奈川県	18	41	228%
6	日本赤十字社医療センター	東京都	18	40	222%
7	武蔵野赤十字病院	東京都	10	39	390%

全国トップクラスの救急医療を経験できる。毎日、24時間東京都の3次救急を受け持ち、週2回の2次救急もある



休日には、仲間と東京ライフを楽しむことができます。当院から東京へはすでに5年間継続しており、東京医療センターでのノウハウはすでに集積しています。今年度からは、東京医療センターの研修医も、当院で研修します。

他大学出身者との交流で、医師のスキルのみならず、人間としての幅が広がる

いろいろな仲間と助け合
い、切磋琢磨することが
できる。

日本の第一線の現場で、
いろいろな患者さんを診
療でき、経験値を上げるこ
とができる

基本的手技をたくさん行
うことができる



指導体制

「旭川医療センター研修管理委員会」を設置し、臨床研修の管理・運営を行います。

1 委員長 臨床教育研修部長 平野 史倫

2 研修管理委員会

副院長、特命副院長、臨床研究部長、臨床教育研修部長、各科部長、各科医長、
薬剤科長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、理学療法士長、看護部長、
事務部長、庶務班長、パワーズ内科胃腸科クリニック院長（外部委員）

各臨床研修協力病院の研修責任者

北海道がんセンター、北海道医療センター、函館病院、帯広病院、八雲病院、東京医療センター、
北海道大学病院、旭川赤十字病院、置戸赤十字病院、旭川医科大学病院、市立旭川病院、
旭川厚生病院、旭川圭泉会病院、留萌市立病院、富良野協会病院

3 指導医の配置とEPOCによる評価

・次の診療科に配置

《当院》

内科、呼吸器内科、脳神経内科、消化器内科、外科、消化器外科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、
放射線科

《協力病院》

救急、地域医療、小児科、産婦人科、精神科、循環器内科、血液内科、心臓血管外科、整形外科、
麻酔科

・EPOCによる指導医評価と自己評価

専門医、認定医等各学会施設認

指導医養成講習会終了者（計18名）

H26.4.1現在

1	日本内科学会認定医教育関連施設
2	日本呼吸器学会認定施設
3	日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
4	日本神経学会専門医教育施設
5	日本消化器病学会認定関連施設
6	日本アレルギー学会準教育施設
7	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
8	日本臨床細胞学会認定施設
9	日本病理学会研修登録施設
10	マンモグラフィ検診施設
11	放射線科専門医修練機関認定施設
12	NST稼働認定施設
13	日本リウマチ学会教育施設
14	日本甲状腺学会認定専門医施設
15	日本外科学会外科専門医制度関連施設
16	日本肝臓学会認定施設
17	日本医療機能評価機構認定施設 (Ver6.0)
18	北海道がん診療連携指定病院

番号	年度(平成)	氏名	診療科
1	23	平野 史倫	消化器内科
2	23	山本 和香子	放射線科
3	23	油川 陽子	脳神経内科
4	22	玉川 進	病理診断科
5	21	箭原 修	脳神経内科
6	21	武田 昭範	呼吸器内科
7	21	鈴木 康博	脳神経内科
8	20	藤兼 俊明	呼吸器内科
9	20	藤内 智	呼吸器内科
10	20	木村 隆	脳神経内科
11	20	安尾 和裕	内科
12	19	藤田 結花	呼吸器内科
13	19	吉河 道人	小児科
14	18	青木 裕之	外科
15	17	山崎 泰宏	呼吸器内科
16	17	黒田 健司	脳神経内科
17	17	斉藤 裕樹	消化器内科
18	15	西村 英夫	消化器内科

新病棟と整いつつあるアメニティー



外科 I C U



ナースステーション



医師記録室



研修医ルーム



カンファレンスルーム



病室（個室）

研修医の処遇・身分など

非常勤国家公務員

当直 2～3回/月 常勤医との複数体制
(2次救急時)

院内での宿舎 (3LDK)と駐車場を格安にて提供

年一回の道外学会参加旅費支給

学会の年会費を2つ (内科学会、外科学会) 負担

1年目 約45万円 当直料別

2年目 約47万円 当直料別

旭川医療センターの初期研修

『てまとヒマをかける臨床研修』

総勢約30人の医師での総力研修です
たくさん症例と手技を経験できる

指導医によるマンツーマン指導

各種院内研修

臨床教育研修部でのフィードバック

道内中心のAコースと

東京を含んだBコースの多様性

研修1年目

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	内科(旭川医療センター)						外科(旭川MC)			麻酔・救急(北海道医療)		
B	内科(旭川医療センター)						外科(旭川MC)			麻酔・救急(旭川日赤)	麻酔・救急(東京医療)	

研修2年目

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	小児科(北海道医療・旭川厚生)	産婦人科(旭川厚生)	地域医療(国立八雲・留萌市立・富良野協会・釧路赤十字)	精神科(北海道医療・国立帯広・旭川圭泉会)	複数科選択(北海道の機構病院) 北海道がん(消化器科、呼吸器科、血液内科、消化器外科、胸部外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、麻酔科) 北海道医療(循環器科、消化器科、呼吸器科、神経内科、リウマチ科、糖尿病科、腎臓内科、アレルギー科、消化器外科、胸部外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、精神科、小児科、麻酔科、放射線科) 国立函館(循環器科、呼吸器科、消化器外科、胸部外科、心臓血管外科、麻酔科、放射線科、病理科) 国立帯広(心臓血管外科、精神科)							
B	小児科 産婦人科(東京医療)		地域医療(国立八雲・留萌市立・富良野協会・釧路赤十字)	精神科(北海道医療・国立帯広・旭川圭泉会)	複数科選択(旭川医療センター) (消化器科、呼吸器科、神経内科、糖尿病科、消化器外科、胸部外科、放射線科)							

研修内容について、ご興味があれば、平野臨床教育研修部長までご連絡下さい。
(hirano@asahikawa.hosp.go.jp)